

ほっとニュース

第31号

ひと雨ごとに春らしくなってまいりました。年度末ということでなんとなく忙しい毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

3月といえば、「卒業」の季節ですね。遙か昔にそのような別れを経験したことを懐かしく思い出します。卒業式の定番と言えはやはり「仰げば尊し」でしょう。(年齢がバレますか?!)しかし、最近はずっとイマドキな曲を歌う傾向にあるようで、永遠の定番なんてものは、もはや存在しないのかもしれませんが。その「仰げば尊し」の歌詞のなかで、「今こそわかれめ」という言葉があります。これは「こそ・・・め」という命令形であり、つまり「別れなさい」という意味だそうです。高校生当時、それまで愚かにも「分かれ目」だと思っていた私はこの真実に驚きつつ、またなぜ別れを命令されるのか、よく分かりませんでした。しかし、この命令形にこそ、新たな出発点に立った者の背中を押す激励の意味が込められていたのだなぁ、と今頃になって日本語の深さを感じ入っている次第です。

さて、今回もいつものごとく権利擁護事例検討会と第5回ネットワーク会議について、ご報告させていただきます。今年度からリニューアルした事例検討会、また新たな取り組みとして始めたネットワーク会議、どちらも無事1年間を通して継続開催することができました。PASネットの会員の皆様をはじめ、ご支援いただいた方々のおかげだと感謝いたしております。来年度も引き続き、PASネットへのご理解とご協力をお願いいたします。

1、権利擁護事例検討会の報告

2月の定例事例検討会は学習会シリーズ最終回としまして、「障害者自立支援法」を取り上げました。PASネットの理事長である上田晴男が講師を務め、「障害者自立支援法」成立までの経緯、またこの4月と10月とで2段階に実施される具体的な施策の内容や新しいサービス体系等についての講義がありました。また「障害者自立支援法」と権利擁護との関連、すなわち市町村が行う地域生活支援事業のなかにおける相談支援事業とはどういった内容なのか、さらに権利擁護の仕組みのシステム化に向けて、権利擁護支援のネットワーク構築に向けてどう取り組んでいくのか、課題は何なのか等にまで話は及びました。

市町村の考える相談支援の体制と、例えばPASネットのような既存の相談機関はどう関係していくのか、さらに連携は取れるのか、まだまだ未知数の部分が多いのが現状です。

3月の事例検討会はPASネットが木口ひょうご地域振興財団の助成金を受けて行いました「成年後見制度についてのアンケート調査」の結果報告を行いたいと思います。ご興味のある方は是非ご参加ください。

PASネット月例事例検討会

・3月28日(火) 18:30～

学習会 「木口財団助成金事業報告会」

～成年後見制度についてのアンケート調査報告から～

報告者 PASネット 内田扶喜子

場所は西宮市総合福祉センター内です。

(PASネットの会員・支援会員であれば誰でも参加できますし、また当日でも会員登録できます。)

2、第5回ネットワーク会議

3月11日(土)、西宮市総合福祉センターにて「第5回ネットワーク会議」を開催いたしました。ネットワーク会議では、弁護士、司法書士、社会福祉士の3つの専門職の連携というコンセプトを一貫して掲げてきましたが、その総まとめ、さらに次へのステップアップを目指すために、今回は兵庫県弁護士会の「たんぼぼ」、司法書士会の「リーガルサポート」、社会福祉士会の「ばあとなあ」のそれぞれの活動の紹介及びその実情と課題について報告をいただき、その後、3職種の協働実践に向けての検討を行いました。

その検討のなかで、協働実践の具体的な形として、来年3月予定のネットワーク会議を振り替えて「権利擁護フォーラム」(仮)という権利擁護に関する大規模な会議を2月頃に開催してはどうか、という提案が出ました。この案には多くの賛同が得られて、会議実現に向けて実際に「権利擁護フォーラム実行委員会」が結成され、委員長、事務局長が選出されました。今後毎月1回程度定期的に委員会を開催し、テーマや構成、報告書の内容についてなど具体的な検討をおこなっていき、ネットワーク会員は実行委員ということで、委員会への参加を呼びかけることとなりました。というわけで、3職種の協働に向けて、新たな第一歩を踏み出すこととなりました。

次回第6回ネットワーク会議は6月10日(土)西宮市総合福祉センターにて開催いたします。テーマは3職種間の支援方法・技術の共有化を図る、ということで、相談援助技術等の研修を予定しています。ネットワーク会員の皆様、お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせのうえご参加くださいますよう、よろしく申し上げます。

~ TOPIC ~

阪神北事務所便り

2006年2月1日に伊丹市にPASネット阪神北事務所が開所してから、はや1ヶ月半ほどが経ちました。平日の午前中はPASネットスタッフのY氏がほぼ詰めており、現在、伊丹市・川西市・宝塚市で相談会を実施できるような場所の確保に奔走しています。また地元の福祉関係者や法律関係者の会議や研修会、交流会等に参加させていただいて、一杯やりながらPASネットの普及活動に励んでいます。新たな地域に進出していく、というのはなかなか大変なことですが、ぼちぼち、焦らず、地道にやっっていこうと考えています。皆様、北事務所のほうもよろしく願いいたします。

~あとかき~

最近のPASの言葉から。「アクロバティックな手法」・・・PASの支援方法を表した言葉。わかりやすく言えば実践的？それともいきあたりばったりの？褒めてるのかな？そうじゃないのかな？「気合申立て」・・・緊急ケース、困難ケースの場合の申立て。T弁護士の得意技？もちろんいつも気合ばかりでのりきっているわけじゃありませんよ。「ゴースト」・・・最近PAS事務所内に多く出没。「ゴースト」の「ゴースト」までいる。末端のゴーストはもうフラフラ～。さて、人気？のコーナー「PASの人々」です。今回はPASのご意見番、鶴のひとこえ、K澤女史です。豊かな経験、鋭い切り口、明確な方向性を持ったK澤さんはまさに砂漠のオアシス！懇切丁寧なご指導にスタッフはみな喉の渴きを潤すのです。そんなPAS精神的支柱のK澤さん、実は大酒豪なんです。ただーし、そんじょそらの酔っ払いではありません。酒は飲んでも、決してのまれません。顔色ひとつ変わりません。どうだ、参ったか！命知らずのあなた、ぜひK澤さんと対戦を！！(BB)